

三友精機株式会社

★『岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業』認定企業

| | | |
|---|-------|--------------------------------------|
|  | 創 立 | 昭和 61 年 |
| | 代 表 者 | 代表取締役 篠原 悟司 |
| | 所 在 地 | 中津川市駒場字西山 1666 番地 552 |
| | 業 種 | ダイカスト・プラスチック・プレス金型製造、 各種金型メンテナンス業 |
| | 従業員数 | 18 人（男性 13 人、女性 5 人） |

働きやすい職場作りのために

【経営者の方から】

- ・仕事と家庭のバランスは、日々の仕事を充実させた上で成り立っていると考えます。定時に帰宅するという事は、その日にやる仕事を先延ばしにして帰ってしまう事ではなく、いかに効率的に仕事を終わらせて定時に帰れるようにするかが大切です。
- ・効率アップのための取組としては、PMDCA T を回す事を大切にしています。計画（目標・予定）を立てて実行する事、チェックする事、達成出来たら必ず感謝の言葉で締めくくる事、これを決して忘れない事です。《通常のPDCAに、モチベーション（やる気）のMと感謝（THANKS）のTを加えた言葉です》



【取り組み】



- ・1 時間単位の有給休暇取得
- ・育児休暇・時短勤務の実施
- ・現場では、新入社員でも分かるように業務の流れのフローチャートを掲示
- ・1 台の機械に担当 1 人
→研修を行い、1 台の機械を 2 名交代制に

◆経営者の考え

全員が協力して毎日の目標を達成する事こそが仕事の充実、更なる効率アップにも繋がります。その達成感や充実感により、家庭でも気持ちの良い言葉が出てきて「ありがとう」に繋がります。ワークライフバランスの基本となるのは、個人の基本姿勢「挨拶・言葉・態度・身だしなみ・感謝」であると考えます。この基本姿勢を基にPMDCA Tのサイクルを回す事が最重要であり、その中でも最後には必ず「T：感謝」があってこそ、人間関係も良くなり、個人のスキルアップにも繋がります。

弊社では、社員さんとの個人面談を年に4回実施しています。面談の時には、社員の皆さんから普段は聞けないような、色んな意見を聞かせてもらい感謝しています。

◆従業員の方に伺いました

(育児休暇を取得した従業員の方)

二回育児休業を取得させて頂き、家庭でゆっくり子育てをする事が出来ました。二回とも子供が3歳になるまでは短時間勤務もさせて頂きました。保育園に入ってから、子供の行事に合わせて、有給休暇を時間単位で取得できるのでとても助かっています。

総務部は2名体制であったところを3名にいただいたことで、子供が病気になった時や、行事がある時は休みを取りやすくなりました。みなさんがフォローしてくださるおかげで助かっています。

(高齢従業員の方)

71歳を過ぎた今でも、朝1時間遅く出勤できるようにしてもらうなど、柔軟な対応をしてもらえることで、35年続けて来た「ものづくり」という、自分の好きな仕事を続けることが出来ています。

(令和3年5月13日)